

うじたわら町 No. 54号 議会だより

Ujitawara Town Council Information

2008. 2



次代を担う若人

●目次(CONTENTS)

- | | |
|---------------------|-----|
| ●12月定例会 | 2P |
| ●請負契約、改正した条例、補正した予算 | 2P |
| ●一般質問 | 4P |
| ●第1回臨時会 | 11P |
| ●インタビュー・編集後記 | 12P |

2008年2月1日(金)発行

発行 ● 宇治田原町議会
編集 ● 議会広報編集委員会
京都府綴喜郡宇治田原町荒木
西出10(〒610-0289)
TEL.(0774)88-2250(代表)
(0774)88-6641(直通)
FAX.(0774)88-6617
メールアドレス gikai@town.ujitawara.kyoto.jp

集団茶園整備事業 4億9350万円で請負契約

平成19年第4回定例会は、12月10日に招集され、20日に閉会した。補正予算10件、条例改正3件、請負契約1件が提出され、いずれも原案通り可決。選挙管理委員会委員及び補充員については、議長の指名推選によりそれぞれ選出された。一般質問には7人の議員が立ち、活発な議論を展開した。

請負契約

○元気な地域づくり交付金事業集団茶園整備事業（西ノ山工区造成工事）

◆工事概要

地区面積19・4ha、畑地面積15haの造成工と合わせて、沈砂池工、畑地土砂流出防止対策工を行うもの。

◆契約の相手方

株式会社 浅沼組 京都営業所

◆契約の金額

4億9350万円

【可決 全員賛成】

質疑

【質問】

財源内訳、今後の資金計画など、説明を。

【答弁】

財源内訳は、国55%、府15%、町15%、入植者15%となっている。補助率は以降も同様である。

改正した条例

○町職員の育児休業等に関する条例の一部

町職員の育児のための短時間勤務制度等を導入する。

【可決 全員賛成】

○町職員の給与に関する条例の一部

初任給を中心に若年者に限定して給料表を改正するとともに、子に係る扶養手当を、一人につき月額500円引き上げるほか、期末勤勉手当の年間の支給月数を0・05月引き上げる。

【可決 全員賛成】

○町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

委員

補充員

武村 勇氏	本田 實氏
木谷 助次郎氏	大谷 友一氏
垣口 善春氏	田村 正巳氏
谷口 昭弘氏	廣垣 眞三氏

任期 平成19年12月22日～平成23年12月21日まで

平成19年度 補正した予算

人事異動、給与改定等に伴う人件費の調整のほか、第4次まちづくり総合計画の推進と、住民の暮らしにおける安心・安全の確保のため早急に対応する必要がある事業を中心として補正するもので、補正額は次のとおりとなった。(千円以下切捨て)

会計予算名	補正額	補正後の予算総額	
一般会計（第3・4号）	1,855万円	38億4,187万円	可決 賛成9・反対3
国保会計（第2・3号）	2万円	10億400万円	可決 賛成全員
介護保険会計（第2号）	△17万円	5億5,303万円	可決 賛成全員
奥山田簡水会計（第1号）	5万円	4,987万円	可決 賛成全員
公共下水道会計（第1・2号）	117万円	6億1,967万円	可決 賛成全員
水道事業会計（第1・2号）	収益的	△69万円	可決 賛成全員
	資本的	2万円	

一般会計
補正予算

国道307号～山手線を結ぶ 新帯アクセス道路整備に 調査費280万円



新都市アクセス道路 調査地周辺

質 疑

新都市アクセス道路整備調査費(280万円)
賢田谷地区を中心とした「新都市創造ゾーン」の整備促進のため、国道307号と山手線を結ぶアクセス道路(一部約200m)の整備を進める。

【質問】

歳入増加のためには、企業誘致も効果的だが、財政が厳しい折、なぜ急に町単費で補正するのか。当初予

【答弁】

算ではなぜいけないのか。本道路は第4次まちづくり総合計画に位置づけられており、財政は厳しいが、将来に向け必要な事業として補

正予算をお願いしている。進出企業には可能な限りの財政負担をお願いしており、本予算もその範ちゅうに含まれる。

【質問】

今後の計画は。

【答弁】

平成20年度予算で事業費を計上し、基本的には単年度で完了させたい。

【質問】

アクセス道路そのものの距離は。今回調査する場所の先の部分はどうなるのか。改めて調査費が発生するのか。

【答弁】

アクセス道路の総距離は1・1kmで、今回調査するのは約200m。その先から進出企業までの約500m弱は、町の指導に基づき業者が調査をするので次年度以降、調査費は発生しない。進出企業から山手線までの約400m強はめどが立っていない。

【質問】

今後計画的に山手線まで道路をつける取り組みを進

めていくのか。

【答弁】

進出企業や地権者と協議の場を設けて取り組む。

【質問】

全員協議会で詳しい説明をすべきだったのでは。特に、財政の問題では企業負担も含めて示し、調査をしていくべきではないか。

【答弁】

総務産業常任委員会では説明した。費用は業者負担が当然。ただ土地計画法上は幅員9mでよいが、町としては将来にむけ12mとしていきたいため、差し引き

【質問】

企業なので急に立地の計画もされる。町としても総合計画の中で重視をしている部分の開発であり、自主自立のために有効な事業であると判断している。

【答弁】

3m分もすべて業者負担となるのか、最終的な結論は出していない。

【質問】

三ノ宮の新道など、生活道路や住民が要望している道路は後になる中、企業の道路だけが唐突に出てきてすぐ実施とは、本末転倒。見解は。

【答弁】

質 疑

安心・安全橋りょう点検事業(180万円)

橋の老朽化が進む中、長寿命化修繕計画を策定するために、健全度を把握するための予備調査を実施する。

【質問】

橋の健全化を図ることは必要だが、なぜ15m以上の橋を対象なのか。災害時の避難経路を重視すれば、町内の橋の機能を十分動員した上で選別すべきでは。

【答弁】

国の修繕計画の対象が延長15mの橋であり、町内25橋のうち災害時の避難経路の機能を有している8橋について実施する。残りの橋は20・21年度で実施していきたい。

平成20年度予算編成の基本的な考えと財政見通しは



垣内 秋弘
議員

【答】 行財政基盤の確立をめざし
歳出削減を図る

【質問】

三位一体の改革、地方交付税の大幅削減等により厳しさを増す中、平成20年度予算編成の基本的な考え方、具体的な重点施策及び経常経費削減の取組みは。

【答 弁】

安心・安全なまちづくりの推進をはじめ、生活基盤の整備などの課題について3つの基本的な視点で取り組む。①第4次総合計画の実現②自治体経営の観点から、事務事業の見直し③住民の目線に立ち透明性の高い予算編成。

重点施策としては、①少子化対策②健康長寿日本③障がい者対策④安心・安全なまちづくり⑤教育環境整備⑥産業・観光活性化の

6つのプロジェクトを重点的に配分して取り組む。また、「平成22年度における歳入歳出差し引き0」をめざして、①簡素で効率的な組織運営②不要不急事業の縮減③内部管理経費の見直し④歳入確保となど行財政改革に徹底的に取り組み効率的な活用を図っていきたい。

【質問】

自主自立継続可能な健全財政を築き上げるには、安定した自主財源確保とともに、中・長期的な視点に立つての予算編成が必要不可欠であると考えますが、今後の財政見通しと取組みは。

【答 弁】

町税収入の伸びが期待薄であり、財政調整基金残高が減少する中、行財政基盤

の確立をめざし、内部管理経費を中心に歳出削減、事務事業の見直しに取り組みむ。

【質問】

健康長寿日本一の取り組みに絡み、専用グラウンド

【答 弁】

ゴルフ場の設置の検討を。住民グラウンド及び奥山田ふれあい広場を多目的グラウンドとして幅広く利用いただけるように願っている。

立地・操業に向けて用地を取得され法手続きに入っ

「新都市ゾーン」土地利用の有効活用促進を

【答】 付加価値の高い
まちづくりを構築する

【質問】

立川・賛田地域に横たわっている広大な砂利採取跡地に須河車体(株)が進出されることは、新たな歴史の幕開けで町にとっても活性化につながる期待も大きい

が、進出の概要と新都市アクセス道路について。

【答 弁】

立地・操業に向けて用地を取得され法手続きに入っ

の確立をめざし、内部管理経費を中心に歳出削減、事務事業の見直しに取り組みむ。

【質問】

健康長寿日本一の取り組みに絡み、専用グラウンド

【答 弁】

立川・賛田地域に横たわっている広大な砂利採取跡地に須河車体(株)が進出されることは、新たな歴史の幕開けで町にとっても活性化につながる期待も大きい

【質問】

が、進出の概要と新都市アクセス道路について。

立地・操業に向けて用地を取得され法手続きに入っ

【答 弁】

立地・操業に向けて用地を取得され法手続きに入っ

極的に取り組むべきでは。

【答 弁】

土地利用は協議組織的なものを設置検討し調和のある土地利用の促進をはかる。

【意見】

開発に関しては一方的に進めるのではなく、地域住民と十分連携を取り、進めていただきたい。



新都市アクセス道予定地

奥山田地区に 光ファイバー網の整備を

【答】 現状では困難、
整備可能な方策を検討

【質問】

奥山田地域をはじめ未回線地域を早急に対策が必要では。

【答 弁】

奥山田地域にサービス提供するためには本町に新

に中継局と敷設が必要となり莫大な費用負担がかかるため、現状では難しいと考えている。今後も引き続き光ファイバー整備可能な方策を検討していく。

光ファイバー整備可能な方策を検討していく。

光ファイバー整備可能な方策を検討していく。

光ファイバー整備可能な方策を検討していく。

来年度の 予算編成の基本は

【答】自主・自立のまちづくりを進める

【質問】

来年度予算は何を基本に、どういう立場で編成するのか。また財政の見通しをどのようにみているのか。2市2町の合併が破綻し、自主・自立のまちづくりを追求していくためには、新たな決意で取り組む必要がある。住民生活が大変厳しい時にあって、これ以上住民負担が増えないように、そういう立場での施策が求められている。

【答 弁】

国の三位一体の改革により、本町も大きな影響を受けた。平成16年度から3年連続で財政調整基金を取り崩している。少子高齢化の進行など、社会が大きく変化する中、第4次まちづくり総合計画の実現に向け

て、一つ一つの課題に的確

に対応していかねばならない。昨年に引き続き、財政改革に取り組み、限られた財源の効果的、効率的活用を図りたい。

財政の見通しは、景気の先行きが不透明な中で町税収入に伸びが期待できず、今年度9200万円の歳出削減を達成したものの、自主・自立のまちづくりを進めていくためには、持続可能な財政基盤の確立が絶対条件である。職員が意識をひとつにして、精いっぱい努力していきたい。

町長の給与を半分に

【答】社会通念上の常識で判断する

【質問】

恒常的に財政を維持していくために、現在町長の給与は毎月73万円から5万円削減して68万円となっているが、思い切って半額にし

てどうか。私も財政を維持するために貢献していきたい。

【答 弁】

社会的通念上の常識に照らして判断していきたい。



安本 修
議員

三ノ宮道の計画の今後は

【答】来年度は用地取得したい

【質問】

具体的施策としてはどのようなことを考えているのか。主なものを示していただきたい。特に三ノ宮道路計画は、平成17年度に調査

をして以降、進展していない。今後の見通しはどうなっているのか。用地買収だけやって工事はなかなか進まないというようないかないよう、住民の声を

しっかり聞いて実現のために努力を。

【答 弁】

具体的施策については、本町の強みである歴史と伝統のある地域力・自治力を生かしつつ、住民協働のまちづくりを進めることとし、少子化対策や健康長寿日本一、安心・安全など6つの重点プロジェクトについて、限られた財源を重点

的に配分していきたい。三ノ宮線については、主要町道新設改良事業4路線のひとつとして、事業規模も非常に大きいので、予算的に複数年にかけて実施している。平成17年度から測量・用地調査を実施しているが、来年度から用地取得に向けた取り組みを進めていきたい。



三ノ宮新道予定地

山手線・南バイパスの 供用開始見通しは

【答】郷之口～南区間は2～3年で開通予定

【質問】

新名神自動車道のアクセス道路として都市計画決定している宇治田原山手線、府道宇治木屋線南バイパスの供用開始見通しについていつごろ実現可能か。

【答 弁】
新名神自動車道のアクセス道路として都市計画決定



工事が進む南バイパス

【質問】
町内において、交通事故が多発している。郷之口で、犬と散歩されていた主婦が死亡される事故があった。また府道や町道において、道路整備の不手際による賠償問題が発生してい

【答 弁】
昨年年度から、「安心・安全な地域づくり事業」を実施し不良箇所等の修繕・改良に取り組んでいる。11月を安心・安全月間とし、一斉点検を実施していく。

町内の道路における安全対策は

【答】職員の安全巡視による点検を実施

し現在、郷之口から南の間で府道宇治木屋線・南バイパスとして府が取組んでいる。当初より用地や土壌問題で遅れているが、あと2

～3年で完成する予定。残りの区間についても国や府との協議の中で効果的な方策を検討する。



森田 木一
議員

家庭用生ゴミ処理 機の利用状況は

【答】アンケート調査により効果を確認

【質問】

昨年度に比べて、本年の利用者は増えているのか。またその利用状況は。

【答 弁】

今年度は、10台あまりの利用者があった。利用状況では、現在までに230基に補助金を交付している。購入者のアンケートでは、処理後、「そのまま菜園にまいている」が50%、「他の肥料と混ぜてまいている」が40%、「ゴミに出している」が10%で、生ゴミの減量に効果があったと報告されている。

地球温暖化防止の取組みは

【答】ISO14001の認証取得をめざす

【質問】

2050年までに温室効果ガスの排出量を半減するための本町での方策について町長の考えは。

【答 弁】

宇治田原町地球温暖化防止実行計画を策定し平成23年度末には平成16年度を基準に5%削減する。

後を絶たない不法投棄の対策は

【答】監視カメラの設置場所を再検討する

【質問】

不法投棄は、昨年比去年増加傾向にあるのか。また監視カメラは有効活用されているのか。

【答 弁】

昨年度の36件に比べて、11月現在11件で、減少している。先般、建物の廃材12トンの不法投棄があった。

監視カメラは、これまでの設置場所3件の不法投棄写真



12 t もの建築廃材が不法投棄された現場

を撮影したが投棄者を限定するにはいたらなかった。設置場所について続けて検討し最適な場所に移動する。

平成20年度予算編成において 何を選択し、何に集中して取り組むのか



小林 昭次
議員

健やかで心やすらぐ まちづくりの実現とは

【答】健康長寿日本一推進事業を
積極的に推進する

健康増進は、高血圧・肥満等のリスクを持つ対象者に携帯・パソコン等を活用し相談・指導をしている。④ストップ！メタボリック事業は実践型の健康教育を実施し、2クルーの参加29名を対象に、食生活の改善、運動の実践を通じて身体計測や簡易な検査を実施したことで、自分の健康状態について再確認し効果をあげた。

【答】思い切った歳出削減を図り 財政改革に取り組む

【質 問】

国の三位一体改革により、本町において地方交付税を中心に3億円を超える歳入減を受けているが、今日まで歳出削減の取組みにより窮地を切り抜けている。平成22年度には「歳入歳出差引き収支0」に向けた方針に対して、平成20年度予算編成においては、何を選択し、何に集中して予算編成するのか。

【答 弁】 今日まで歳出削減に取り組んできたが、平成16年度以降3年連続して財政調整基金を取り崩さざるを得ない状況であり、このままでは財政調整基金が底をつくことが予想される。平成19年度予算において、義務的経費を除く経費で、8千万円の削減計画に対して9千2百万円の削減を達成した。今後、自主・自立の財政基盤確立をめざして平成22年度まで、毎年2千8百万円

【質 問】

【答】健康長寿日本一推進事業を積極的に推進する

平成20年度の予算編成の重点施策にも掲げられている、健康長寿日本一プロジェクトは、伸長する高齢化社会にあつて健康で長生きできるまちづくりをどのようにして実現するのか。

①健康づくりのつどい開催事業②ふるさとの味で健康づくり事業③メールで健康推進事業④ストップ！メタボリックシンドローム事業についての内容は、健康長寿の延伸を妨げる3大疾病のうち心臓病や脳血管障害を予防するための

生活習慣改善に向けた対策として、健康長寿日本一推進事業に取り組んでいる。①健康づくりのつどい推進事業は、9月に開催し婦人検診・栄養相談等12コーナーを設け、702人の参加があった。②宇治田原のふるさと



工業団地の企業誘致事業

とが予想される。平成19年度予算において、義務的経費を除く経費で、8千万円の削減計画に対して9千2百万円の削減を達成した。今後、自主・自立の財政基盤確立をめざして平成22年度まで、毎年2千8百万円

健康長寿の延伸を妨げる3大疾病のうち心臓病や脳血管障害を予防するための

健康教育・健康増進をはかった。③メールで



メタボリック相談

どう取り組む

財政の健全化

【答】 前例にとらわれず
創意工夫で難局を乗り越える



西谷 信夫
議員

即戦力となる 人材育成を

【質 問】

評価システムについては、今年度試行段階であり、来年度以降本格導入に向け取り組んでいきたい。

【質 問】

町税の伸びは期待できず、財政調整基金の取り崩しが1億7千万円となる見込み。

【質 問】

20年度より第4次行政改革大綱において具体的にどう見直し、削減目標を達成するのか。また少ない予算で最大の効果をあげるため行政評価システムの本格的導入についての考えは。

【答 弁】

毎年度2千8百万円の新たな事務事業等の行政改革に取組む。業務の進め方や体制を見直し、事業の選択と集中と併せて経常経費の見直しにも取り組む。行政

【答 弁】

評価システムについては、今年度試行段階であり、来年度以降本格導入に向け取り組んでいきたい。

【質 問】

集団茶園整備が21年度で終了することから、22年度で仮に収支均衡目標が達成したとして、以降均衡維持あるいは黒字となっていくのか。また22年度以降、茶園整備に伴う投資的費用は発生しないのか。

【答 弁】

まずは、22年度収支均衡をめざし取り組むことが重要である。職員が一丸となり、難局を乗り越えていきたい。茶園整備は完了後5〜6年で収穫時期となり、施設が必要になる。国府の有利な制度を利用する中、また本町の農林業振興事業費補助金交付規則に基づき助成していく。

【質 問】

今後分権型社会が進む中、即戦力になる人材の育成がもっとも大事。能力主義により評価されることは、資質の向上につながる。人事評価制度導入についての考え方は。

【答 弁】

職員の士気、資質の向上と組織の活性化を図るため、喫緊の課題と認識している。導入に向けてさらに調査研究していく。

健全化法に対する備えは

【質 問】

去る6月に地方公共団体の財政健全化に関する法律が成立した。全ての地方公共団体が、実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率の財政指標を20年秋より公表していくことになっている。現在の本町の状況は。

【答 弁】

今、直ちに差し迫った状況ではないものの、将来財政調整基金が底をつき、実質収支の黒字化が維持できなくなる事態になれば問題となる。

住民のための 改革を

【意 見】

自主・自立できる地方政府をめざし、改革に取り組んでいるが、「目標達成のためだけの改革」「なりふり構わずの目標達成」では困る。据え置きや見直しをして、良いことと悪いことがあり、しっかりと選択すべき。あくまで改革の評価をするのは、住民である。



ゼロ予算で子どもを見守る職員

後期高齢者医療制度

周知と相談体制の充実を

【答】 十分相談にのるよう努める

【質問】

08年4月からの後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者を他の世代と切り離し、際限のない負担増を強いるとともに、受けられる医療も制限するなど、内容が明らかになるにつれ不安の声が上がっている。

府の広域連合議会では1人当たりの平均保険料は8万2500円となった。当初の厚生労働省の試算を1万円近く上回る額である。低所得者への全額免除制度を創設すべき。

【答 弁】

保険料は、所得割率8・32%、均等割額4万5250円、賦課限度額50万円と定められた。低所得者には、均等割額に対し7割・5割・2割の軽減がある。

【質問】

月1万5000円以上の年金をもらっている人は、保険料が天引きされる。納付相談もできない。対象者への周知と相談に依る体制が必要では。

【答 弁】

広域連合では3月の被保険者証交付の際に、制度や保険料等をパンフレットによりお知らせする計画をしている。また、相談については十分のついでいけるように努めていきたい。

【質問】

保険料の滞納者には資格証明証が発行され、窓口負担が10割となる。保険料を払えない人が10割の医療費を払えるはずもなく、受診抑制が進む。お年寄りから保険証を取り上げるような

【質問】

ことはすべきでない。本町の考えは。広域連合では「保険料を滞納していることをもって、機械的に資格証明証を

【答 弁】

発行するのではなく、できる限り滞納者との接触を図り、事情を十分聞き、きめ細かな相談を行う」との考えで、本町も広域連合と連携を密にし、慎重に対応していきたい。



今西久美子 議員

ボランティアで介護予防を

【答】 宇治田原らしいシステム作りをすすめる

【質問】

高齢者がボランティアとして介護支援を行った場合、ポイントに応じて介護保険料を軽減する制度がある。東京都の稲城市ではボランティアをすることで生きがいがでたり、友人の輪が広がったりと、介護予防につながっているとの

【答 弁】

こと。本町でも制度の導入を検討しては。介護支援ボランティア制度は、利用者の間でも意見が分かれているようであり、今後の参考にしていきたい。地域でそれぞれが絆を深め、助け合い、支え合うシステムづくりが大事。

本町では昔から温かい心でお互いが助け合う貴重な土壌がある。宇治田原らしい、

和み合い、助け合う介護のシステムづくりを進めていきたい。

グラウンドゴルフ場の設置を

【答】 公共施設が使い安くなるよう研究していく

【質問】

近年グラウンドゴルフ人口が増加している。グラウンドゴルフは気軽に、だれでも簡単に楽しめ、住民の健康づくり、介護予防に役立つと考える。住民の憩いの場として多目的に使える広場を整備してはどうか。

【答 弁】

だれでも、いつでも、簡単に楽しむことのできるグラウンドゴルフが、高齢者の間で健康づくりや生きがいづくりとして取り組ま

れ、介護予防の一助になっていると考えている。グラウンドゴルフ場については、財政改革の中での大規模事業は想定をしていないが、公共施設が高齢者の方により使いやすくなるよう研究していきたい。



グラウンドゴルフで介護予防

危険な道路に 歩道の設置を

【答】道路管理者である府と協議する

【質問】

安全で住みよいまちづくりに向け、交通事故から入るを守り、未然に防ぐことが大事。下町交差点から国道307号信号までの間は歩道がなく、朝夕の交通量の増加に伴い危険な状態。早急に設置を。

【答 弁】

下町交差点から神楽橋までの間、約50mは、既に歩道が設置されており、通学路においても町道郷之口鷲峰山線、木長園前府道を横断して神楽橋を渡っている。神楽橋から国道307号の交差点までの180m



危険な道路に歩道の設置を



青山 美義
議員

住民要望への対応は

【答】区からの要望が多く、縮減せざるを得ない財政事情である

間は、歩道が設置されていない。今後、都市計画道路郷之口下町線として改良整

備促進の中で、管理者である府と協議し要望していく。

【質問】

安心・安全なまちづくりの推進の中で、災害を最小限に抑えるために日々の危険箇所の点検が必要。毎年区より改善箇所の要望が提出されているが実現に至っていない。湯屋谷地域の河川が増水したとき、付近の家屋が危険な状況となっているため対策を。

【答 弁】

毎年、町単費で土木事業の施行箇所要望に対し、施行順位や緊急性を考慮し、予算の範囲内で箇所決定をしている。平成18年度は、要望箇所94件で36件の事業を、本年度は19箇所を実施した。平成20年度の事業要望では83箇所である。安全対策として緊急を要する場合は優先的に実施していく。

住民体育館の バスケットボードの改良を

【答】小学校を使用していたきたい

【質問】

子供の体力の低下が心身の健全な発達上の問題となっている。住民体育館のバスケットボールのバックボードが大人用になっているが、子供用の高さに調節できるように改良すべき。

【答 弁】

小学生用のバスケットボードに45cm低くする装置をつけると、コートが狭くなり公式競技ができなくなる。従来どおり小学校の体育館を活用していただきたい。

グラウンドゴルフ場の整備を

【答】公共施設の活用を

【質問】

誰もが楽しめる、スポーツとしてグラウンドゴルフが人気を博している。各地域、グラウンドゴルフ協会が中心となって大会が実施されている。一定の広さの場所が必要であり、住民の交流の場として検討すべきでは。

【答 弁】

本町でも人気が沸騰するスポーツとして各地区やグラウンドゴルフ協会が盛んに実施されている。グラウンドゴルフ場を設置するとなれば、広大な土地が必要。住民グラウンド等の公共施設で譲り合って活用していきたい。

第1回臨時会

人事案件

○教育委員会委員の任命同意



中森 勝氏

任期 平成19年11月26日から
平成23年11月25日まで

【同意 全員賛成】

平成19年第1回臨時会は、11月19日に開会され、会期を1日とした。人事案件1件が提案され、全会一致で同意。専決処分2件が報告された。

報告事項

○町道での事故にかかわる和解及び損害賠償の額について
【専決処分】

①ダンプカーが町道2の2号線を走行中、くつわ池公園近くで道路に張り出していた木の枝と接触し、左側ドアミラー等が損壊したもので、損害賠償の額は5万5808円。

②乗用車が町道郷之口湯屋谷線の平岡公民館から三ノ宮神社方面へ向かって走行中、下水道工事のマンホール周りの舗装維持管理不備によりバンパー等に損害を与えたもので、損害賠償の額は16万1485円。

議 会 傍 聴 においで ください

次回、3月定例会は3月6日開会
3月10日一般質問の予定です。

くわしくは議会事務局（Tel 88 - 6641）までお問い合わせ下さい。

定例会は年4回
(3・6・9・12月)



初手揉み (永谷宗園生家にて)



消防出初式



縁たたき (高尾地区)



インタビュー 新成人に聞く



新成人代表

中辻

たけし
健
さん

「社会が混迷を極めている今の時代だからこそ、若い私たちが新しい道を切り拓いていくチャレンジ精神を発揮していくことが大切。友だちや両親、先生方とのさまざまな出会いを通じて「絆」を大切にすることを学んだ。周りの人への感謝を忘れず、自立していきたい。」と成人式で「成人の言葉」を述べた中辻健さんにインタビューしました。

Q 趣味は？

A スポーツが好き。最近

ゴルフをはじめた。

Q 20歳になって嬉しいことは？

A お酒が飲めるように

なったこと。

Q いまの大人に言いたいことは？

A 若い僕らは「やんちゃ」

というイメージがあるかもしれないが、頭ごなしに言わないでほしい。

Q 将来の夢は？

A 幸せな家庭を築くこと。

Q 自分の信念は？

A 人の意見に流されないうこと。「アカン」ことは「アカン」といえるようになりたい。

「絆」。友だちをととても大事にしているの。

Q 好きな言葉は？

A 「絆」。友だちをととても大事にしているの。

Q ふるさと宇治田原について思いは？

A 宇治田原が一番落ち着く。町外で「宇治茶」って聞いたら、すごいなあと、誇りにうれしく思う。

Q 将来、宇治田原をどんな町にしたい？

A 年齢に関係なく、みんな仲のよい町にしたい。

Q 理想の人は？

A おじいちゃん。普段何もやっていないようにふるまっていますが、いろんなところを見ている。すごいなと思う。

「偽」と決定されました。産地や賞味期限の改ざんなどが相次いで発覚し、「偽り」に対する国民の怒りの声ではないかと思えます。今年こそは正しいことは『正しい』、間違っていることは『間違っている』と、偽りのない年であってほしいものです。

後記

「冬来たりなば、春遠からじ」と申しますが、新春をいかがおすごしでしょうか。

昨年暮れ、一年の世相を表す漢字

本年も公平・公正を基本に、開かれた議会をめざし、わかりやすい『議会だより』を発行してまいりますので、ご愛読ください。また、ご意見、ご感想をぜひお寄せください。皆様方の今年一年が、良き年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

(西谷)